

2020年度 決算実績

2020年度 経営総括レビュー

- 新型コロナウイルスの影響により激変する経営環境下でも、「コミットメント経営」を実践
- 時価総額・株価で史上初の総合商社No.1を実現。「持続的な企業価値向上」を推進

定量計画	連結純利益	新型コロナウイルスの影響はあったが、減益幅を最小限にとどめ、期初計画を達成
	財政状態、キャッシュ・フロー	大型投資を実行しつつ、財務体質は引続き堅持。A格維持に目途
	経営指標	コロナ禍でもROE13%程度、また黒字会社比率も80%台の高水準を確保
	時価総額・株価	時価総額・株価で史上初の総合商社No.1を実現
	株主還元	累進配当継続。自己株式取得も継続実施
定性計画	成長戦略	<ul style="list-style-type: none"> ファミリーマート非公開化を実施。ファミリーマートの成長戦略を加速すると共に、グループ連携による消費者接点を活かしたビジネス拡大を推進 機を捉えた各種買増策の実行。主要事業会社との連携強化を推進
	コロナ禍対応	コロナ禍でも労働生産性を落とさない働き方、臨機応変な勤務体制を実践
	ESG	GPIF採用ESG関連インデックスに大手総合商社では唯一、すべて採用

2020年度 決算概況

- 連結純利益は、期初計画4,000億円の達成となる4,014億円
- 基礎収益は、約4,525億円。新型コロナウイルスの影響を大きく受けた分野もあったが、四半期毎に着実に増加・回復、第4単四半期の基礎収益は、金属、電力・環境ソリューション、化学品、情報・通信等が牽引し、第4単四半期として過去最高を更新
- 一過性損益は、将来懸念の一掃に繋がる処理等を実施し、約▲510億円(利益約1,055億円・損失約▲1,565億円)
- コロナ禍においても安定的なキャッシュ(実質営業キャッシュ・フロー約5,740億円、過去2番目)を創出する一方で、過去最高となる投資(ネット投資約▲7,550億円)を実行
- 株主資本は、3兆3,163億円(過去最高)。NET DERは、0.78倍(過去2番目)

新型コロナウイルスによる影響

- 主にアパレル関連の販売減少、自動車トレードの減少や航空機関連ビジネス需要の減退に加え、外食向けやコンビニエンスストアの落込み等により、年度累計で約▲560億円の影響
- 四半期毎の影響額は、1Q:約▲220億円、2Q:約▲180億円、3Q:約▲70億円、4Q:約▲90億円
- セグメント別の影響額は、第8:約▲200億円、機械:約▲160億円、繊維:約▲85億円等

経営成績

単位:億円	2019年度実績	2020年度実績	増減
連結純利益	5,013	4,014	△999
一過性損益	160	▲510	△670
基礎収益	約4,855	約4,525	約△330
非資源	3,783	2,927	△856
資源	1,268	1,079	△189
その他	▲37	9	+46
非資源比率*	75%	73%	2pt低下
事業会社損益(含、海外現地法人)	4,452	3,596	△855
黒字会社比率	88.6%	82.4%	6.1pt低下
EPS	335.58円	269.83円	△65.75円

* 構成比は、合計から「その他」を除いた値を100%として算出しています。

キャッシュ・フロー

単位:億円	2019年度実績	2020年度実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,781	* 8,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,488	▲2,073
(フリー・キャッシュ・フロー)	(6,294)	* (6,886)
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5,755	▲7,288

実質的なフリー・キャッシュ・フロー

単位:億円	2019年度実績	2020年度実績
実質営業キャッシュ・フロー*1	6,020	5,740
実質投資キャッシュ・フロー(▲ネット投資)*2	▲2,900	* ▲7,550
実質フリー・キャッシュ・フロー	3,120	▲1,810

*1 「営業キャッシュ・フロー」-「運転資金等の増減」(リース会計の影響除く)

*2 実質的な出資及び設備投資に係る支出及び回収。

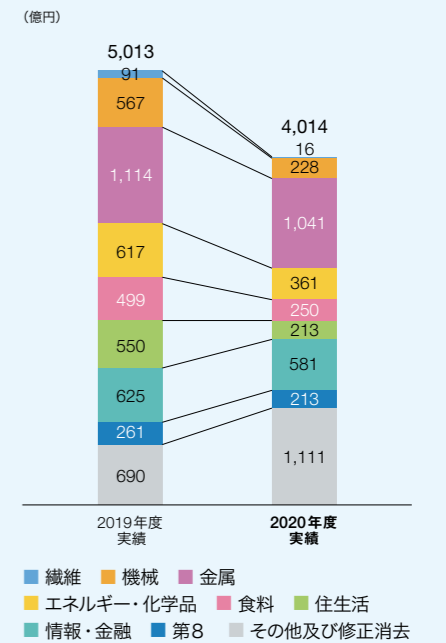
「投資キャッシュ・フロー」+「非支配持分との資本取引」-「貸付金の増減」等

財政状態

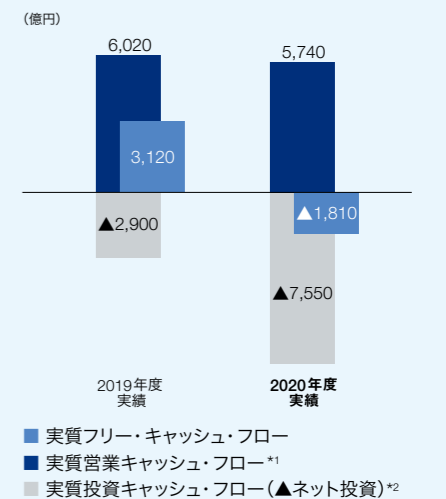
単位:億円	2020年 3月末実績	2021年 3月末実績	増減
総資産	109,196	* 111,784	+2,588
ネット有利子負債	22,569	26,014	+3,445
株主資本	29,960	* 33,163	+3,203
株主資本比率	27.4%	29.7%	2.2pt上昇
NET DER	0.75倍	0.78倍	0.03増加
ROE	17.0%	12.7%	4.3pt低下

* 過去最高・最大(総資産は年度末として過去最大)

セグメント別連結純利益



実質的なフリー・キャッシュ・フロー



財政状態

